

マーケットの動き（2022年8月15日～8月19日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。週初は、中国の景気後退懸念や8月のニューヨーク連銀製造業景況指数の急低下などを材料にリスク回避の円買い圧力が強まり、米ドル円相場は一時132円台半ばまで下落しました。その後は、米国金利の上昇や日本の7月の貿易収支が歴史的な赤字となったことを受けて、週末にかけて137円台まで急伸して週を終えました。ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルでは下落しました。

投資環境見通し（2022年8月）

円に対して、米ドル、ユーロともに弱含む

米国、ユーロ圏ともに当面の金融政策は利上げ方向ですが、金融市場においては利上げの織り込みが進んでおり、引き続き景気後退も意識されやすい状況とみています。日銀は緩和的な金融政策を継続していますが、当面は米ドル、ユーロともに米国やユーロ圏の景気動向を注視しつつ、円に対して弱含むとみています。

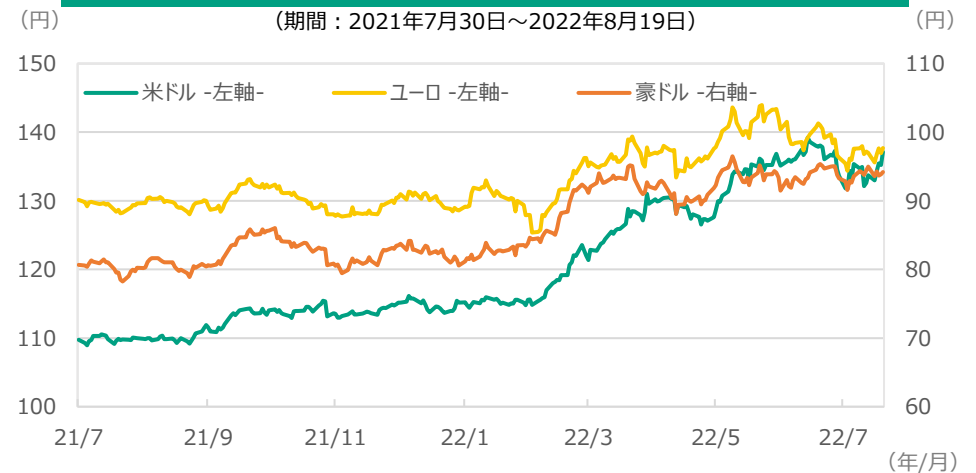
	8月19日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	137.12	3.41	▲0.75	21.97	27.39
ユーロ/円	137.68	0.71	▲3.59	7.09	9.50

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

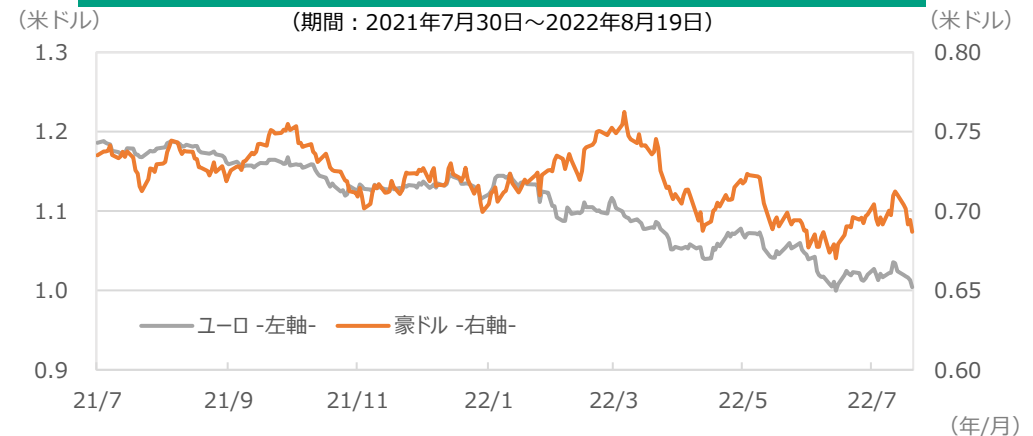
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202208_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>